

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

別添2

令和7年2月28日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維事業(離島航路構造改革事業(調査事業))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
唐津市離島航路 確保維持協議会	川口汽船有限会社が運航する「小川島～呼子航路」は、小川島と本土を結ぶ唯一の公共交通機関であり、通院、通学、通勤や生活物資の輸送の他、観光客等にとってもなくてはならない重要な航路である。 しかし、少子高齢化などにより利用者は減少傾向にあり、経費削減に努めているものの経営状況は厳しく、事業者単独で引き続き本航路を維持していくことは困難な状況にある。 そこで、航路の運営上の問題点を把握・分析し、航路及び航路経営の将来見通し、運営の改善策等について検討を行い、当該航路を安定的に維持・確保するための航路改善計画を取りまとめる。 【事業内容】 ・地域の現状把握と整理 ・航路利用者の意向調査 ・航路診断 ・経営診断 ・航路需要等の見通し ・航路改善方策の検討 ・航路改善計画の策定	A	令和6年7月2日に「小川島～呼子航路幹事会」を設置 令和6年8月6日に第1回幹事会を開催 ・改善計画概要及びスケジュールの説明 ・航路の概況と検討のポイント ・利用者アンケートの実施概要 令和6年11月29日に第2回幹事会を開催 ・経営診断の結果 ・航路診断結果(アンケート調査結果) ・検討課題と改善方策の費用対効果の検証 令和7年2～3月に第3回幹事会を開催予定で、航路改善計画(案)を示し、最終的な協議を行う予定。	調査事業において、協議会や島民アンケート調査等を通じて日々運航を継続する離島航路の事業運営の実状を地域で共有し、将来に向かって安定的に航路を維持していくために地域が一体となって今後何をなすべきか考え・検討し、合意形成が進められたと考えています。 航路診断、経営診断等により抽出・把握した課題や問題点、利用者ニーズや要望等をもとに策定された航路改善計画に沿って航路事業者や島民並びに地域や関係機関が一体となって取組を実施し、更なる利便性の向上、航路の収支改善につながることを期待します。	